

令和4年度第1回狭山市公民館運営審議会会議録

開催日時 令和4年6月24日（金） 午後2時から午後3時20分
開催場所 狭山市立中央公民館 第1ホール
出席者 中村委員、齋藤委員、横江委員、高橋委員、小熊委員、田口委員、大井川委員、小林委員、平野委員、細田委員、名雲委員
欠席者 野口委員、横田委員、折居委員
教育委員会 滝嶋教育長、内藤生涯学習部長、關根生涯学習部次長公民館統括教育総務課長兼務、石井社会教育課長
公民館 内出中央公民館長、高取富士見公民館長、田中入曾公民館長、池之谷水野公民館長、市之川堀兼公民館長、北田新狭山公民館長、忍成奥富公民館長、田中柏原公民館長、三浦水富公民館長、原中央公民館副館長
傍聴者 なし

1 開 会

2 委員長、教育長あいさつ

3 事務局紹介

4 議 事

(1) 令和3年度各公民館事業報告及び令和4年度事業計画について

資料に基づき事務局（各公民館（広瀬公民館を除く））から説明

(主な質疑)

委 員 今年度事業のうち、地区の体育祭等の行事の実施方法については、公民館と地域との関係という捉え方をした時に、誰がどのように決定しているのですか。

事務局 中央公民館（入間川地区）につきましては、実行委員会を立ち上げて、実施方法を決定しております。また、他の公民館は自治会と協議しながら、事業を進めております。

委 員 先ほど、狭山台地区は60歳以上の人口比率が40%という説明があったが、各地域で年代別の年齢構成は把握しているのでしょうか。国の大きな流れもあるかと思うが、現実的には、地域で物事を考える時には年代別年齢構成等にも依拠しないと、事業は成り立たないのだろうと思う。

また、各公民館のピックアップ事業では、学校との共催や子ども・青少年対象の事業が多い印象を受けたが、その中で新狭山公民館では、戦争歴史事業を取り上げたいという説明があった。やはり、時事社会的な問題についても、市民レベルの中でも、きちんと取り上げておかないと、現代は、単純に我が国だけの話しをしても、世の中を見られない時代になっているので、その点についても留意して事業を構築していただけるとありがたいと思う。

委員 高齢者ドライバーを対象とした講座があったが、自動車を運転していると自転車についても危ない場面もあるので、自転車に関する交通ルールを対象とした講座も実施してもらいたい。子どもたちは、小学校の交通安全教室で指導してもらえが、年月が経つと忘れてしまう。自動車・自転車双方の運転者がお互いの立場で、危険性を知ってもらうことも大切だと思うので、この機会に合わせて実施していただけるとありがたいと思います。

事務局 これから講座を実施する公民館もありますので、委員ご指摘の点も考慮して実施してまいりたいと思います。

委員 堀兼公民館からデマンドバスの説明がありましたが、以前、「高齢者で免許を返納された方は、公民館に来るのが大変なので、イベントの時などはバスを走らせたらどうでしょうか」ということを、この審議会の場で話をしたかと思いますが、どのような形になるのでしょうか。

事務局 現在、地域の代表の方々が集まり、委員会という形で、運営方法を検討して、実施に向けて動いているところです。まずは、地域の方に乗っていただくことから継続的な運用に繋げるということで、今年の10月から実証運行を実施する予定です。これは、堀兼地区の中で、まずは皆さん使っていただき、どのようなものか、みんなで試していきたいと思いますという段階です。公民館としても、堀兼地区は広い地域なので、遠くの小学生が公民館へ来るのは、なかなか大変です。バスを使いながら地域の中で一緒に何かやってみようということ考えています。また、スマホとかパソコンを使って予約すると自宅にバスが来てくれるのですが、特に移動手段として使っていただく高齢の方については、なかなかそういった手続きは、ちょっとハードルが高いことになるので、そのハードルを下げた皆さんに利用いただくために、ICTを利用すると、便利な生活が出来るということで講座を企画していきたいと考えています。

委員 運転免許の更新に行くと、返納について必ず聞かれるが、そのためには返納後の生活の環境整備が必要になってくる。そのような関係について事業展開していただくと公民館の意味があるかと思うが、いかがでしょうか。

事務局 これからの社会的課題となっておりますので、講座等として、できるだけ取り上げられるように、計画できれば良いかと考えます。

5 その他

・第39回市民展の開催及び次回の運営審議会の予定について、事務局から説明

6 閉会